

ストライダーエンジョイカップ 参加規約

<コース内容>

◆コースについて

レースは屋外に設置されたコースにおいて実施します。

◆レース形式について

- ・複数の選手が一斉にスタートし、ゴールした順に順位を決定します。
- ・レースはトーナメント形式で行い、最大6台による予選・決勝を行います。
- ・予選、準決勝のレース数は、レース出場者の人数を考慮して主催者が独自に設定できます。

◆スタート・ゴールについて

【スターティングエリア】

- ・すべてのライダーはスターティングエリアで保護者1名の付き添いを許可される。付き添いは保護者もしくはライダーを監督できる小学生以上でなくてはならない。
- ・付き添いはレーススタート時にライダーの体に触れてはならない（スタート時にライダーの背中を押す行為は厳禁とする）。
- ・ライダー及び保護者は、レース前のブリーフィング(注意事項の共有)に参加しなくてはならない。

【ゲート】

- ・スタートグリッドの割り当ては抽選によって決定するものとする。

【レース表】

- ・選手の氏名、ゼッケン番号、走行するレース及びスタートゲートの番号を記した「スターティングリスト」は、主催者により掲示板に掲示されます。
- ・予選・準決勝・決勝それぞれのスターティングリストは、各レースが行われる前に主催者より掲示されます。
- ・選手及びその保護者は、自身が出走するレースとスタート時間を事前に確認し、遅延無くスターティングエリア及び待機エリアに集合しなければならない。

【召集】

- ・各レースのスタート前に、出場する選手の招集を行ないます。
- ・招集を行った際にスタート位置に集合出来なかった場合、またスタート時に集合出来ない選手は棄権とみなします。
- ・各レースのスタート前に、レースイベントMCにより、実施されるレースの名称が告げられます。

【ゴール】

- ・ゴール判定は、フロントタイヤの先端がフィニッシュラインに到達した時点とする。

◆併走について

- ・緊急時を除き付き添い及びすべての観覧者はレース中コースへの立ち入りをしてはならない。
- ・オフィシャルはこの制限を一時的に解除することができる（ライダーが走行不可となり保護者の協力が必要と判断した場合など）。

◆表彰について

- ・入賞：各クラス1位から3位までの順位を確定し表彰を行います。
- ・ファイナリスト賞：決勝に残った4位以降の選手にファイナリストメダルを贈ります。
- ・ガールズ賞：各クラス決勝に残った女の子上位3名に表彰を行います。
- ・エンジョイ賞：勝敗に関係なく、大会中に一番楽しんでいたキッズに「エンジョイ賞」を贈ります。
- ・がんばったで賞：参加したすべての子どもたちの"一生懸命"に敬意を払い「がんばったで賞」として表彰状とストライダーレーシングメダルを贈ります。

<ルール要項>

◆車両

- ・2歳クラス、3歳クラス、4歳クラスの出場可能車両はSTRIDER（ストライダー）12インチモデル、14xクラスの出場可能車両はSTRIDER（ストライダー）14インチモデルみとする。
- ・自己所有の車両のみ出場が許可される。共有車両での出場は認められない。
- ・出場車両は保護者によって安全に整備されていなくてはならない。また以下の安全規則を満たしていなくてはならない。
- ・正しくメンテナンスされ正常に機能すること。
- ・ライダーが安全に乗りやすい状態が保たれていること。最終的な判断はオフィシャルによるものとする。
- ・シート、ハンドルバーは、既定の最低挿入ラインを越えてはならない。
- ・すべてのボルト及びナット類は緩まないよう必要なトルクで絞められていなくてはならない。
- ・ハンドルバーには樹脂製もしくはラバー製のグリップが装着されていなくてはならない。ハンドルバーエンドはグリップで覆われているか、バーエンドキャップが装着されていなくてはならない。また、グリップもしくはバーエンドキャップが擦り切れるなどしてハンドルバーエンドが露出してはいけない。
- ・フレーム及びフロントフォークの基本骨格はストック(オリジナル)の状態であってはならない。つまりフロントフォーク及びフレームをオリジナル以外のパーツに交換すること、フレームやフロントフォークを切断・再溶接するなどし基本骨格の構造を変更した車両（ネック角の変更や、フレーム及びフォークの延長・カットなど）は認められない。
- ・ホイールベースはストック(オリジナル)状態を維持していなくてはならない。
- ・ホイールの取り付け位置はストック(オリジナル)状態を維持していなくてはならない。
- ・ホイールは袋ナットを使用して取り付けられているか、アクスルシャフトのねじ山が露出してはならない。
- ・アクスルシャフトに突起物を装着してはならない。またアクスルシャフトの先端部分がフレーム及びフロントフォークの装着位置から20mm以上突き出していはいけない。
- ・いかなるブレーキ装置も装着してはならない（ブレーキ動作による後続車両の追突を防ぐため）。
- ・ハンドル、ステム、シート及びシートポスト、ホイールなどの社外パーツの装着はオフィシャルの判断によって安全面で特に問題が無い限り認められる。ただし、ホイールはノーマルホイール（オフィシャルカラーホイールを含む）のみとし、社外ホイールの装着は認められない。※ストライダーエンジョイカップ特別ルール適用

※身体的ハンディキャップを補う目的によってフレーム等を特殊に改造された車両は事前申告によって出場が認められる。

ハンドルバーは以下規定値の範囲内で装着されていなくてはならない。

- ・タイヤ接地面からハンドルバーのセンターまでの高さ

A. 450mm以上

B. 660mm以内

- ・ヘッドチューブセンターからハンドルバーセンターまでの距離。

C. 60mm以内

D. 120mm以内

- ・9.片側ハンドルバーエンドから片側ハンドルバーエンドの長さ（グリップを含むハンドルバーの長さ）。

340mm以上～460mm以内

- ・保護者は子どもの体調、快適性、安全性について責任を持たなくてはならない。
- ・子供に対して一切の暴力行為、暴言行為を行ってはならない。

◆服装

【ヘルメット】

- ・すべてのライダーはヘルメットを装着しなくてはならない。ヘルメットは「SG、CE、CPSC、EN」いずれかの安全規格を取得していなくてはならない。
- ・ヘルメットのサイズは適切なものとし、走行中にずれるようなことがあってはならない。

・転倒した際ヘルメットが脱げないように、あご紐は適正な位置で締めなくてはならない。

【着衣】

・アクティビティや天候状況によって適切な服装をさせなくてはならない。また、夏期開催以外では、肌が露出しないような長袖、長ズボンでの服装を強く奨励する。※ストライダーエンジョイカップ特別ルール適用。

・転倒時の怪我防止のため、肘・膝のプロテクター・グローブ（指先が露出しないタイプを推奨する）は原則着用させなくてはならない。

・肘・膝のプロテクターは硬質樹脂製カップ（プラスチック系素材）、または衝撃吸収性の高いパッドが付属していなくてはならない。

【シューズ】

・すべてのライダーは運動に適した靴を履かなくてはならない。

・靴はつま先、かかとを完全に覆い、足にしっかりと固定されるものでなくてはならない。

・スリッポンやサンダルなど運動に不適切な靴は使用は不可とする。またスパイクシューズの使用は不可とする。

【検査】

・選手が着用する衣服及び安全装備が適正であるかどうか、常に主催者による検査の対象となります。

・本規則の特定の規定に違反しているか否かを問わず、主催者により改善を求められた選手は、改善により主催者の許可を得なければ、レースイベント会場内をバイクに乗車して走行する事はできません。

◆ゼッケン

・主催者より配布されたゼッケンプレートは、ハンドルバー前方に向け、明確に視認できるよう取り付けなければならない。

◆カテゴリー

2才の部/3才の部/4才の部/14xの部（4才～6才以下）

※レース当日時点の年齢で分けられます

◆大会の中止・延期について

・原則として雨天決行ですが、台風や地震などの天災、または天変地異により中止・変更する場合があります。

※上記の理由により大会開催が不可能になり、延期・中止となった場合は参加料の返金はありません。

予めご了承ください。

◆傷害保険について

・主催者はレース参加者全員を対象に、死亡後遺障害310万円、入院日額1,200円、通院日額700円の傷害保険に加入しておきます。この保険で不十分な方は各自のご判断で別途ご加入ください。・主催者は、傷害保険に加入しますが、障害や疾病、紛失、その他の事故に際し、応急処置を除いて一切の責任を負いません。

◆大会写真・映像の使用について

・大会の映像・写真・記事・記録等（において氏名・年齢・性別・記録・肖像等の個人情報）が新聞・テレビ・雑誌・インターネット・パンフレット等に報道・掲載・利用されることを承諾します。また、その掲載権・使用权は主催者に属します。

◆個人情報の取り扱いについて

・主催者は、個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を厳守し、主催者の個人情報保護方針に基づき、個人情報を取り扱います。大会参加者へのサービス向上を目的とし、参加案内、記録通知、関連情報の通知、次回大会の案内、大会協賛・協力・関係団体からのサービスの提供、記録発表に利用いたします。また主催者もしくは委託先からの申込内容に関する確認連絡をさせていただくことがあります。

◆走行可能エリアについて

・ストライダー乗車可能エリアは、大会実施エリアのみとし、大会実施エリア外は乗車禁止とする。

・大会実施エリアは大会毎の参加確認証にて明記する。

・大会実施エリア内での走行についても、レースコース及び試乗会場以外での走行については、他参加者との接触が発生しない様、保護者が管理をする。